

# ちくしのクリップ

問秘書広報課

12/9

5大会ぶり花園へ挑戦

筑紫高校ラグビー部



筑紫高校ラグビー部が、5大会ぶり7回目となる全国高等学校ラグビーフットボール大会(通称、花園)への切符をつかみ、平井市長に報告しました。キャプテンの草場 壮史選手は、「勝てる身体づくりを意識してチーム全員が日々の生活やトレーニングを積み重ねてきました。目標は筑紫高校がまだ達成していない全国ベスト8です」と話してくれました。



勇気と感動を与えるラグビーで筑紫の名を全国に広めます

12/11

地域福祉に対する  
熱量に敬意を表して

筑紫野市民生委員・児童委員 感謝状・委嘱状伝達式



民生委員・児童委員は「地域の身近な相談相手」として、見守りや相談・支援、地域福祉活動を行うボランティアです。式では、退任する委員に対し感謝状を伝達するとともに、新任・再任となった153人の委員に対し、厚生労働大臣からの委嘱状を伝達しました。民生委員・児童委員の任期は12月1日から3年間です。



平井市長から感謝状・委嘱状が伝達されました

11/30

心温まる  
人形劇の世界へ

第23回ちくしの人形劇まつり

文化会館でちくしの人形劇まつりを開催しました。プロ・アマチュア合わせて9団体が趣向を凝らした人形劇を披露し、多くの親子がバラエティ豊かな演目に笑ったり驚いたりと、心を揺さぶられる時間を過ごしました。参加者たちは人形たちが織りなす世界に引き込まれ、食い入るように見入っていました。



アマチュア劇団むくむくが披露する「ちび魔女」

12/1

地域の元気を応援



明治安田生命保険相互会社から寄附金贈呈

明治安田生命保険相互会社では、住民と地域資源のつながりの場を創出し地域活性化をめざす「地域の元気プロジェクト」を実施しています。今回の寄附はその一環で、従業員の皆さん「私の地元応援募金」として行ったものです。贈呈式では、実績が報告されました。寄附金は住民サービス向上に役立てられます。



明治安田生命保険相互会社福岡支社から贈呈

12/16 おいしい地元産を  
ご賞味あれ  
筑紫野市地産地消マルシェ

地産地消の推進を目的として市役所前ふれあい広場で筑紫野市地産地消マルシェを開催しました。筑紫野市農業女性グループ協議会が地元産の新鮮野菜や加工品を販売し、地元農産物の安全性とおいしさをアピールしました。

楽しみにしていた人たちで開店前から長蛇の列ができ、農産物の売り切れが続出しました。



安くておいしそうな物産がたくさん並びました

12/21 たよりはボールの音と  
仲間の声！  
ブラインドサッカーエクスペリエンス

農業者トレーニングセンターで開催したこのイベントは、ブラインドサッカーのプロ選手やアビスパ福岡のコーチが指導しました。ブラインドサッカーは、アイマスクをした状態で、ボールに内蔵する鈴の音や他のサポート選手の声をたよりにサッカーを行います。参加者は見えない状態に苦戦しながらも、ブラインドサッカーの楽しさを体験しました。



教室には22人が参加しました

■見出しの二次元コードを読み取ると  
イベントの様子を動画でも見ることができます。

12/12 これからも  
ずっと一緒に  
二日市小学校 クスノキプロジェクト

二日市小学校の敷地内に生え、長年児童たちの成長を見守ってきた楠が、学校の増築に伴う敷地整備で伐採されます。児童たちや二日市小学校運営委員会はこの楠についてのプロジェクトを立ち上げ、感謝の思いの共有や伐採後の活用の検討を行ってきました。この日、児童たちは教育委員会へ有効活用の提案書を提出。教育委員会は、ベンチやクラス札などへの活用を予定しています。



長年児童たちの成長を見守ってきた大木の楠

12/13 プロの試合に声援送る  
ライジングゼファーフクオカ 筑紫野市応援デー

本市とフレンドリータウン協定を結ぶライジングゼファーフクオカの試合が、筑紫野市応援デーとして照葉積水ハウスアリーナ（福岡市東区）で開催されました。二日市中学校と筑山中学校の女子バスケットボール部が前座試合を行い、大いに盛り上げました。また、招待された市民350人を含む多くの観客がプロの試合に声援を送り、迫力あるプレーを存分に楽しみました。



中学生たちはプロと同じ会場でプレーし、貴重な経験をしました

12/26 もくひょう  
目標は  
パルクール日本代表  
岡山 颯汰選手

さまざまな障がい物を生かし、走る・跳ぶ・登るなどの移動手段を駆使することで運動能力を鍛える競技、パルクール。本市出身の岡山 颯汰選手がパルクール日本選手権＆ネクストジェンのジュニア男子スピードの部で第2位に輝きました。岡山選手は、競技の魅力を「障がいを越える動きに決まった型がなく、個性を発揮できることです」と語りました。



令和8年度からは成人の部での出場になります

12/26 ぜんこくたいかい いど  
全国大会へ挑む  
ヤング筑紫野アローズ

市内で活動するヤング筑紫野アローズが令和7年11月に行われたヤングリーグ春季大会九州第三支部予選で優勝し、3月に行われる全国大会への出場を決めました。予選大会では逆転勝ちした試合もあったとのことで、二日市中学校2年生で副キャプテンの永田 朋己選手は大会を振り返り、「皆で円陣を組んで気合を入れ直し、仲間への声かけをして逆転できました」と話をしていました。



「油断せず練習に取り組んでいきます」と決意する選手たち

12/22 きんめだる！  
めざすは金メダル！

高橋 千里香選手が市長を表敬

本市出身で、フェンシングで活躍する高橋 千里香選手(オリエンタル酵母工業株式会社所属)が平井市長に表敬を行いました。令和7年、高橋選手は全日本フェンシング選手権(団体戦)で優勝し、FISUワールドユニバーシティゲームスという世界大会では個人で銅メダルを獲得しました。現在は日本代表選手として日々の練習に取り組んでいます。



目標はロサンゼルスオリンピックでの金メダルです

12/23 きぎょうばん のうぜい  
企業版ふるさと納税  
寄附金贈呈式

福岡市に本社を置く株式会社グローバルエンジニアリングから、企業版ふるさと納税の寄附がありました。高嶋 信彰取締役コーポレート本部長は、「筑紫野市の住みよいまちづくりに役立ててもらいたいです」とし、脱炭素の推進などに寄与する取り組みにも力を入れていくと話しました。



寄せられた寄附金は産業振興などのまちづくりに生かします

1/18

## 新たな集いの場として

山家3区公民館 落成式

築65年経過し老朽化した公民館の建て替えは、地域の活性化だけでなく、防災拠点としても期待されています。土砂災害の危険がある公民館裏に擁壁を建設し、災害時には避難所として開設できることになりました。山家3区の川上区長は「日ごろからだれでも立ち寄れる場所になるように、にぎわいの拠点にしていきましょう」と挨拶しました。



スロープや多目的トイレを備えています

1/21

## 全国大会で大活躍

空道の全国大会を報告

11月に開催された2025全日本空道ジュニア選手権大会において、筑紫東小学校5年生の田中 桜惟選手が優勝、二日市東小学校4年生の喜島 葵選手と6年生の松江 侑史朗選手が3位を獲得し、平井市長に報告しました。空道は突き、蹴りの打撃技や投げ技や絞め技などもある総合武道です。田中選手は「常に試合を想定し、練習を行っていました」と練習での心がけを話していました。



左から喜島選手、田中選手、松江選手、平井市長

■見出しの二次元コードを読み取ると  
イベントの様子を動画でも見ることができます。

12/26

## 1分間に277文字

内村さん パソコン入力で全国3位に

12月に行われた第26回毎日パソコン入力コンクール全国大会ローマ字部門(小学生以下)において、二日市北小学校4年生の内村 こころさんが3位を獲得しました。この大会は、パソコンの文字入力の速さと正確性を競うもので、内村さんは1分間に277文字を入力しました。内村さんは大会を振り返り「緊張しましたがミスが少なく良かったです」と話してくれました。



「現在はプログラミングの勉強中です」と話す内村さん(左)

1/9

市の安全安心を  
守って36年

山崎さんが瑞宝単光章を受章



大字原田在住の山崎 幹彦さんが秋の叙勲である瑞宝単光章を受章し、平井市長へ報告しました。山崎さんは昭和60年に消防団員に任命され、その後36年間、市の安全安心を守ってきました。消防団の副団長も務め、消防団をけん引した山崎さん。受章にあたり、「長年の活動や今回の受賞は私一人の力ではなく、家族や皆さんの協力や指導のおかげです」と話してくれました。



山崎さん(左)と平井市長(右)